

# 関西における生物多様性の主流化に挑む ～生物多様性協働フォーラムの挑戦

## 生物多様性協働フォーラムとは？

生物多様性協働フォーラムとは、企業や行政が積極的に生物多様性の課題に関われる社会環境を整えることを目指し、民・官・産・学など様々な立場の人々と連携して、生物多様性に関する最新動向や優良事例、課題解決策を関西から発信しようとする緩やかな共同体です。

2010年に名古屋市での第10回生物多様性条約締約国会議を契機として、国内では生物多様性に関する関心が高まりました。しかし、その関心も継続・発展させる努力を怠ればなりすばみになってしまいます。また、生物多様性問題に関する情報の伝達は、世界→国→地方という一方通行の経路に偏りがちで、地方から国や世界へ情報する力が弱い状態でした。

当館はこのような危機感、問題意識から、翌年の2011年に、三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)と特定非営利法人西日本自然史系博物館ネットワークに呼びかけ、本フォーラムを結成しました。

## これまでの成果

平成23～27年度にかけて実施したシンポジウムの概要を表1に示します。シンポジウム(写真1)では、企業、行政、学術、市民など様々な立場の方が登壇するよう心がけ、生物多様性の問題が特定の立場の人々だけで解決する

べきものではなく、社会全体で解決すべきものであることを伝えようとしています。第3回では、当館の岩槻邦男館長(当時)、関西広域連合連合長の井戸敏三兵庫県知事、関西広域連合広域環境保全担当の嘉田由紀子滋賀県知事(当時)の鼎談をコーディネートし、地方行政トップの生物多様性に対する考えを引き出しました(写真2)。また出展ブースを設け、登壇者以外の団体がそれぞれの活動について情報発信できるよう工夫をしています(写真3)。

研究分野では、平成24年度には「市町における生物多様性地域戦略策定の支援のあり方に関する研究」を進め、兵庫県下で戦略策



写真1  
シンポジウムの様子  
(第1回は当館ホロンピアホールで開催)



写真2  
第3回における鼎談の様子。左から岩槻館長、井戸知事、嘉田知事(役職は当時)

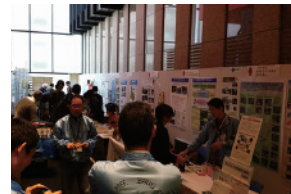


写真3  
多数の人で賑わう出展ブース(第7回での様子)

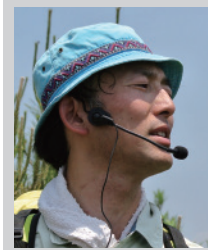
定済みの4自治体の環境担当者へのヒアリングや、近畿圏の地方自治体環境担当者を集めたワークショップを開催し、生物多様性行政に関わる担当者が施策を推進する上で直面する組織内外での課題について洗い出しました。また、現在、生物多様性に配慮した製品の流通促進に関する研究をすすめています。具体的には、一般市民がこれら製品を日常的に入手できるようにすることを目標としたとき、その実現には近所のスーパーなどの小売業・流通業界がそれらをより多く扱う事が必要との観点から、関西地場のスーパーの商品開発部門へのヒアリングや全国の小売業への意識調査アンケートを予定しています。

## 今後の予定

平成28年度には第10回のシンポジウムを開催するとともに、これまでのシンポジウムでの議論を取りまとめた書籍の発行を検討しています。またクリアすべき課題は多いものの、生物多様性協働フォーラムを緩やかな共同体から法人格を得た団体へと発展させることも検討しています。今後の取り組みご期待ください。

表1 これまで開催したシンポジウムの概要

| 開催回 | テーマ  | 開催年月日                | 会場                                     | 聴講者数 |
|-----|--|----------------------|--|------|
| 1   | 企業・地方自治体をとりまく生物多様性の最新動向と事業インフラを活用した生物多様性CSRの展開 | 平成23年<br>8月25日(木)    | 兵庫県立人と自然の博物館<br>(兵庫県三田市)               | 185  |
| 2   | 企業の持続性を高める生物多様性の理解                             | 平成23年<br>10月17日(月)   | 大阪銀行協会<br>(大阪府大阪市)                     | 147  |
| 3   | 社会の『つながり』を活かした取り組みの展開                          | 平成24年<br>2月12日(日)    | 兵庫県公館<br>(兵庫県神戸市)                      | 450  |
| 4   | 『農・林・海』の場における生物多様性を維持・利活用し続けるためのしくみ            | 平成24年<br>8月26日(日)    | 徳島県教育会館<br>(徳島県徳島市)                    | 300  |
| 5   | グリーンビジネスでつなげる『都市生活』と『生物多様性』                    | 平成24年<br>11月11日(日)   | 大阪市立自然史博物館<br>(大阪府大阪市)                 | 125  |
| 6   | 共生のビジョンを広域的な視点から考える                            | 平成25年<br>1月12日(土)    | ピアザ淡海<br>(滋賀県大津市)                      | 300  |
| 7   | いのちにぎやか、文化ゆたか。～いのちと文化の共鳴をよみがえらせる～              | 平成25年<br>12月21日(土)   | 京都劇場<br>(京都府京都市)                       | 501  |
| 8   | ウナギの未来をつなげよう～うまいもんが結ぶ人の縁、水のつながり、生きもののくらし～      | 平成26年<br>12月23日(火・祝) | グランフロント大阪 北館4F<br>ナレッジシアター<br>(大阪府大阪市) | 420  |
| 9   | テクノロジーが切り拓く生物多様性の未来                            | 平成27年<br>12月23日(祝)   | 大阪科学技術センター<br>8F大ホール<br>(大阪府大阪市)       | 136  |



生物多様性協働フォーラムの枠組みを活用した生物多様性の普及・啓発、研究開発  
 代表者：橋本佳延  
 分担者：三橋弘宗、大平和弘  
 協力団体：三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)、特定非営利活動法人西日本自然史系博物館ネットワーク  
 外部資金導入：兵庫県シンクタンク等協議会自主研究グループ調査・研究助成金(平成24年度、平成27年度)、一般財団法人地域政策研究会調査研究助成(平成24年度)